2011年~

新規事業による

価値創造

全国のインフラと人材を活

用し、PFM®*などの新規

事業を展開するとともに、

動物用医薬品や食品加工

原材料等に事業分野を広

2015年

げました。

資本別戦略

価値創造のあゆみ

「Change the 卸」を通じて、築き上げてきた強みを 原動力にさらなる成長を目指していきます。



2000年~

(株) クラヤ三星堂発足



事業フィールドの拡大

株)メディセオHD熊倉社長(左)

と(株)パルタック三木田社長

(株) パルタック*が加わ 全国流通網の形成 り、化粧品や日用品を含 め、日々の健やかな暮ら

2005年



事業別戦略

神奈川ALC (ALC第1号)

2009年~ 事業の革新

高機能物流センター (ALC*)の全国配備を進 めるとともに、MR*認定 を受けたMS*を増やすな ど、営業機能の拡大に努 めました。

2010年



(株)メディパルHD渡辺社長(左)と JCRファーマ (株) 芦田会長兼社長

2014年~

「Change the 卸」が スタート

「Change the 卸」をビ ジョンに掲げ、従来の考え 方や枠組みにとらわれるこ となく、卸の在り方を変え ていく方針を打ち出し、さ まざまな取組みを展開し ています。



(株) メディパルHD渡辺社長(右) と H.U.グループHD (株) 竹内社長

2019年~

パートナーシップ構築 と新規事業拡大

新規事業を「創造」から「拡 大しへとステップアップさ せるとともに、さまざまな 企業とのパートナーシップ を通じて社会と顧客に貢 献する新たな枠組みを構 築しています。

2020年

2022年~

事業ポートフォリオの シフトと パートナーとの協働で 変革・成長する

「2027メディパル中期ビジョン Change the 卸 Forever」を策 定し、ありたい姿に向けた取組み を推進しています。



1898年 (株) クラヤ三星堂*発足を しを幅広く支える流通企 創業 起点に、経営統合や業務 業グループとなりました。 提携を通じて、全国を網羅 事業フィールドは「医療 する流通プラットフォーム 売上高 と健康、美」。 2024年3月期 を構築しました。 3兆5,587億円 2001年3月期 1兆730億円 経常利益 2024年3月期 645億円 2001年3月期 54億円 営業利益 2001年3月期 2024年3月期 19億円 473億円

2024年

2000年

1898年

事業別戦略

資本別戦略

メディパル中期ビジョン

前中期ビジョン 2022メディパル中期ビジョン 成果と課題

		パ ル中期ビジョン 〜2022年3月期>	nange the Future ************************************				
基本方針	社会と顧客に貢献する新たな枠組みを構築し、収益基盤の拡大と 持続的な成長を実現します。						
重点戦略	パートナーシップの構築 新たな枠組みの創造		新規事業の拡大 収益基盤の強化				
	既存事業の 3 顧客課題の解決と生涯		人材の強化と組織の変革				
	連結経営		2022年3月期の実				
	経常利益	720億円	620億円				
経営目標	新規事業利益※	100億円	91億円				
	配当性向 309	%を目安に安定配当	31.4%				
	成長投資計画 3年	3年間で480億円					
主な成果	● CVC(コーポレートベン ● 高度な温度帯物流のノ' ● 顧客との協業によるSD ((株)メディセオ、(株)エ ● グループ会社、パートナ ● 健康経営の推進 ● コンプライアンス経営の	ウハウを活かした新型コ Gs、ESG流通の取組み :バルス、(株)アトル、(材 一企業との人材交流を	開始 k) PALTAC)				
曲出された 課題		く(プライマリーからスペシ や、予防・未病への関心の の変化への対応 oなぐ(行政・医療機関・	ャリティ医薬品へ)に伴う営業体制の構築 D高まりに対する取組みの強化・充実				

2027メディパル中期ビジョン

2023年3月期から2027年3月期までの5年間の中期ビジョンとして「2027メディパル中期ビジョン Change the Forever ~たゆまぬ変革を~」を2022年10月に策定し、戦略を推進しています。

2027メディパル中期ビジョン



全体成長イメージ

事業ポートフォリオのシフトと パートナーとの協働によって、 5つの成長戦略を展開していきます。

- 1 海外への進出
- 2 予防・未病、アグロ・フーズ領域の事業拡大
- ③ デジタルを活用したビジネス基盤の強化
- 4 持続可能な流通の構築
- 5 地域医療における価値共創



成長戦略の基盤となるのは、人材戦略と財務戦略です。各戦略の実行を通じて社会価値・顧客価 値を創造し、当社グループの持続的成長を目指します。

本中期ビジョンの実現に向けて、新規事業、医療機器・試薬事業、動物用医薬品・食品加工原 材料卸売等関連事業を重点事業としました。重点事業へ経営資源を集中的に投下することで、 経常利益構成比を2022年3月期の約30%から2027年3月期には50%近くまで伸ばし、経常 利益1,000億円を目指します。また、グループ最大の規模であり、人々の生活に欠かすことのでき ない商品を安定的にお届けするという医療用医薬品等卸売事業と化粧品・日用品、一般用医薬 品卸売事業は基盤事業として、付加価値や生産性をさらに高めながら、成長させていきます。

2027メディパル中期ビジョンの進捗

○成長戦略の主要施策と進捗

事業ポートフォリオのシフトとパートナーとの協働によって、5つの成長戦略を展開しています。本中期ビジョンの実現に向けて、成長戦略の主要施策に沿って取組みを着実に推進しています。

成長戦略	主要施策	これまでの主な取組み
海外への進出	●パートナーとの協働による新たなグローバルビジネスの展開	JCRファーマ (株) との協働による希少疾病用医薬品のグローバル展開に向けた研究開発を開始本協働による対象疾患を拡大、ムコ多糖症 III B型の治療薬 (JR-446) を追加 海外現地法人を設立 (ベトナム、インドネシア)
予防・未病、 アグロ・フーズ領域の 事業拡大	(予防・未病) ●検査機器・最新治療機器、口腔ケアビジネスへの展開 (アグロ・フーズ) ●動物薬および食品加工原材料等の製造販売 ●自社企画品等の導入・開発	 MP五協フード&ケミカル(株)の連結子会社化 食品加工原材料卸売等関連事業における経営統合推進 MPアグロ(株)に開発本部を設置し、動物用医薬品開発を推進 (株)プリメディカの全株式を取得
デジタルを活用した ビジネス基盤の強化	・パートナーとの協働によるデジタルプラットフォームの普及と拡大◆最先端デジタル機器への参入	●CVCファンドによる出資を通じた医療DXの推進、クラウド上での医用画像の管理・共有を実現●物流EDIを活用したASN(事前出荷情報)導入による効率的な商品入荷業務フローの本格運用を開始●AI需要予測による自動発注サービスの提供開始
持続可能な流通の 構築	●検査、試薬、医薬の物流融合による新たな価値創造	 ● 阪神ALC、栃木物流センターの稼働 ● (株) メディスケットを設立、シェアリングロジスティクスに向けた取組みを開始 ● 東七 (株) の全株式を取得、九州の流通インフラを強化 ● 佐川急便 (株) とサステナブル・ロジスティクス連携協定締結 ● 医薬品をドローンのレベル4飛行で輸送する実証を実施
地域医療における 価値共創	●医療関係者をつなぐコーディネート活動による価値共創	希少疾病や女性特有の疾病など、専門領域に特化した営業活動の推進

●…医療用医薬品等卸売事業 ●…化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業 ●…動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

経営目標·

○主要財務指標

項目	目標(2027年3月期)	2024年3月期実績		
総合収益性	ROE: 9%	ROE: 7.1%		
松口牧金注	経常利益額:1,000億円	経常利益額:645億円		
投資	成長投資:1,000億円	成長投資:約600億円 (中期ビジョン期間中 (2期) の累計)		
株主還元	株主総還元性向 ^{※1} :40% (5年間累計)	株主総還元性向 ^{※1} :39.2% (中期ビジョン期間中 (2期) の累計)		

○成長戦略を通じたESG課題解決

項目	目標(2027年3月期)	2024年3月期実績		
脱炭素への取組み	〈温室効果ガス排出量 ^{※2} 削減目標〉 2030年度 50%削減 (2020年度比) 2050年度 カーボンニュートラル	温室効果ガス排出量 ^{※2} 73,575t-CO ₂		
ダイバーシティ& インクルージョンの推進	〈女性活躍推進目標〉 2030年度 管理職に占める女性割合 20%以上	管理職に占める女性割合 8.5%		
健全で透明性の高い 企業経営	コンプライアンスに関する研修の拡充 グループ会社に対応したガバナンス体制の構築	●新たにグループインした会社へ ガバナンス体制構築推進の支援 ●リスク管理体制高度化に向けた検討 ●コンプライアンス研修の継続実施		

価値創造のあゆみ メディパル中期ビジョン 価値創造プロセス サステナビリティマネジメント サステナビリティ担当取締役メッセージ

価値創造プロセス

メディパルグループが保有する資本を活用して、経営理念のもと「ありたい姿」を実現するための戦略を推進し、これらの取組みを通じて創出した利益を事業 基盤の強化に再投資し、新たな価値の創造に努めることで、さまざまなステークホルダーの期待に応えていきます。

← 🗐 → 15

SUSTAINABLE

GOALS

5 ##25;*** **©**

8 mesos mares

111

00

未病対策の向上

経営理念

流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。

ありたい姿

「医療と健康、美」を広げ、支え、つなぐ 健康応援オーケストラ

外部環境 INPUT **OUTPUT OUTCOME** 2027メディパル中期ビジョン 強み お得意様 サプライチェーンの最適化 持続可能な流通の提供 経営の効率化 ●質の高い医療の提供 🔼 人的資本 全国物流プラットフォームによる ●トレーサビリティの完全化 Change the Forever 安全・安心・確実な物流の提供 □ 詳細は P.20 患者さん・消費者 全国物流網の進化と社会課題を解決する ~たゆまぬ変革を~ 安全で安心な医療 社会の変化 経営理念を 新たなロジスティクスソリューション提供 心身ともに健やかな生活 体現する 豊かで快適な生活 人口減少・少子高齢化 ○ 物流設備資本 多様な人材 顧客課題へのソリューション提供 従業員 社会保障費の増大 グループの Ⅲ 詳細は P.26 ● 物流機能と連動した独自のサポートシステム 働きやすい職場環境 環境問題の深刻化 持続的成長 ●地域に密着した独自ソリューションの提供 従業員一人ひとりのスキル・能力の発揮 イノベーションの促進 高機能な サプライチェーン全体の最適化・効率化を実現する 創造性やエンゲージメントの向上 社会価値・顧客価値の創造 ウェルビーイングの実現 1 知的資本 全国物流拠点網 ロジスティクスソリューションの提供 デジタル技術の進歩 ● 顧客ニーズに対応する 社会・環境 インフレーションの加速 詳細はP30 戦略を展開するための手法 リテールソリューションの提供 健康寿命の延伸 消費行動の変化 事業ポートフォリオの パートナーとの協働 だれもが生き生きとかがやく社会 流通最適化の 女性が活躍する社会 適正な情報の提供 ノウハウ 環境負荷の低減 (計) 社会・関係資本 ●多様な専門性に優れた人材による 株主・投資家 「医療と健康、美」の ■ 詳細は P.36 成長戦略 適正な情報提供 企業価値の最大化 海外への進出 事業フィールドにおける変化 新規事業で培った 安定的な株主還元 予防・未病、アグロ・フーズ領域の事業拡大 知見 新たな領域における 仕入先・パートナー • 健康寿命延伸ニーズの拡大 デジタルを活用したビジネス基盤の強化 1 財務資本 新規ソリューションの提供 製品の普及 持続可能な流通の構築 予防・未病の検査領域の拡大 顧客基盤の拡大 ● 全国ネットワークと専門性の高い人材を活用した Ⅲ 詳細は P.40 地域医療における価値共創 物流の高度化・効率化 環境負荷低減ニーズの拡大 グループシナジー 新たなソリューションの提供 ●商品やサービスのラインアップ拡充 高度物流と効率化 ●海外での希少疾病領域における ● イノベーションの促進 ●スタートアップ企業の成長 画期的新薬の上市 • 個別化ニーズの拡大 人材戦略 財務戦略 😭 自然資本 予防・未病領域におけるイノベーション Ⅲ 詳細は P.42 アグロ・フーズ領域における 詳細は P.13 地域医療の充実 研究開発型ソリューションの拡大 地域包括ケアシステムの構築 ●疾患予防の強化

重要課題(マテリアリティ) □ 詳細はP.16

サステナビリティ方針 未来へつなごう「元気と、かがやき」 □ ###は P.16

コーポレート・ガバナンス **二** 詳細は P.56

価値創造のあゆみ メディパル中期ビジョン 価値創造プロセス サステナビリティマネジメント サステナビリティ担当取締役メッセージ

資本別戦略

サステナビリティマネジメント

方針

メディパルグループは、経営理念のもと、事業活動を行っています。環境問題などへの社会的な関心が高まる中、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に関するサステナビリティ方針「未来へつなごう『元気と、かがやき』」を明文化しました。

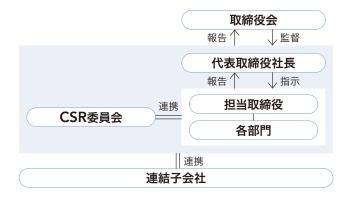
重要課題(マテリアリティ)

当社グループの経営理念に基づく事業活動やSDGsをはじめとした社会課題との関連性を整理し、その解決と当社グループの持続的な成長を両立させるためのマテリアリティとして6項目を特定しました。それぞれに中長期目標を設定し、グループ各社で取組みを進めています。



推進体制

当社グループでは、グループ全体のサステナビリティへの対応方針や施策、中長期におけるサステナビリティ目標などの重要事項について、サステナビリティ経営を推進するCSR委員会で議論しています。審議した内容は担当取締役(CSR委員会 委員長)から取締役会に上程し、決議しています。連結子会社は決定されたサステナビリティに関連する方針に基づき、担当部門主導のもと施策を実行し、具体的な内容や進捗をCSR委員会に報告しています。担当取締役はその内容を定期的に取締役会に報告することで、取締役会の監督が適切に図られる体制を整備しています。

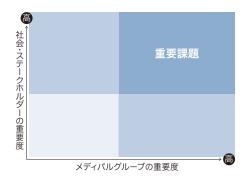


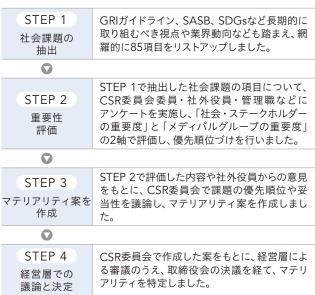
2023年度CSR委員会

- 開催実績:8回
- 主な議題
- ●マテリアリティの新たな目標(KPI)の検討
- グループ全体の進捗確認
- 脱炭素、ダイバーシティ&インクルージョンにおける取組みの検討
- 健康経営の進捗確認
- 人権方針の検討

マテリアリティ特定プロセス

下図における社会・ステークホルダーの重要度が高く、かつ、当社グループの重要度が高い課題について、内容を統合・整理しました。優先順位や妥当性を議論したうえで、当社グループのマテリアリティとして、6項目を特定しました。





価値創造のあゆみ メディパル中期ビジョン 価値創造プロセス サステナビリティマネジメント サステナビリティ担当取締役メッセージ

マテリアリティと資本の関係

当社グループが持っている「強み」を活かし、資本を最大活用することが重要であると考えています。 マテリアリティに取り組むことで資本の強化・拡大を図っていきます。

	マテリアリティと資本の関係性	非財務資本				-1-11	
マテリアリティ		人的資本	物流設備資本	知的資本	社会・関係資本	自然資本	財務資本
				DO .		O.V	A Company
持続可能な 「医療と健康、美」の流通	シェアリングロジスティクス基盤モデルや新たな流通網の構築に向けた取組みは、社会・関係資本や物流設備資本の増強、さらには特許の取得やノウハウ蓄積などを通じ知的資本の価値を高めます。また、売上等への貢献により、ゆるぎない財務資本の構築につながると考えています。		0	0	0		0
新たな価値創造による 収益性の向上	希少疾病用医薬品等の研究開発や海外への進出に向けた取組みを通じた新たなビジネスモデルの構築、食品加工原材料卸売等関連事業における経営統合によるさらなるグループシナジーの創出は、知的資本や物流設備資本を強化するとともに、新規利益の獲得を通じて財務資本の増加につながるものと期待しています。また、地域医療コーディネーターの活動は、地域のヘルスケア課題解決に向けさまざまなパートナーとともに取り組むことで社会・関係資本の拡大につながると考えています。		0	0	0		0
未来を担う人材の育成	エンゲージメントの向上や新人事評価制度の導入、次世代リーダーの育成などの取組みは、変革人材の増加による人的資本の強化とともに、ノウハウの蓄積、組織力の強化といった知的資本の増強にもつながります。また、これらの取組みは競争優位性の強化や生産性の向上にもつながり、その結果、財務資本の増加につながると考えています。	0		0			0
ダイバーシティ& インクルージョンの推進	女性活躍推進などの取組みを通じた多様性の確保や、働きやすい職場環境の整備による優秀な人材の定着、さらには人権を尊重する企業風土は、人的資本の最大化にとどまらず、イノベーションと新たな価値創出をもたらすことで、知的資本の価値を高め、財務資本の増加につながります。また、社会からの信頼と評判向上といった社会・関係資本の強化にもつながると考えています。	0		0	0		0
脱炭素への取組み	自社の温室効果ガス排出削減に向けた取組みは、環境対応設備の導入による物流設備資本の増強を通じ、気候変動の緩和といった自然資本の毀損低減につながると考えています。また、取引先の脱炭素に貢献することは、社会・関係資本の強化だけでなく売上等への貢献といった財務資本の増加につながると考えています。		0		0	0	0
健全で透明性の高い 企業経営	コンプライアンスの徹底に向けた取組みは、高い倫理観を持った人材の増加といった人的資本の強化や組織の健全性向上による財務資本の増加にもつながっていきます。また、リスク管理体制の高度化は、リスクマネジメントに関するノウハウの蓄積といった知的資本の価値を高めるだけでなく、取引先との信頼関係構築などの社会・関係資本の拡大につながると考えています。	0		0	0		0

資本別戦略

マテリアリティ進捗状況

当社グループのマテリアリティマネジメントは、CSR委員会が中心となり、各部門と連携のうえ推進しています。すべてのマテリアリティについて目標(KPI)を設定し、マテリアリティの進捗状況を 定期的に確認しています。今回、「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」の新たな目標(KPI)として、「2030年度 男性従業員の育児休業取得率100%」を追加しました。今後、社会・事業変 化に合わせて、適宜見直しを実施し、さらに、進捗状況の開示やステークホルダーとの対話を通じて、各取組みの強化につなげていきます。

マテリアリティ	概要	目標・KPI	2024年3月期の実績と主な取組み事項	2025年3月期の計画と主な取組み事項		
持続可能な 「医療と健康、美」の流通 ^{3;;;;;}	単利的な収組ので構築し、 2027年3月期経常利益+15億円 検体共同集荷の試験運用開始 社会的価値と経済的価値 (2027年3月期経常利益+15億円) (2027年3月前経済3月前経済3月前経済3月前経済3月前経済3月前経済3月前経済3月前経済		● 医療用医薬品等卸売事業、臨床検査事業における物流業務の一体化 ●シェアリングロジスティクス基盤モデルの構築と展開 ●メーカー物流の受託を拡充 ● (株) PALTACにおける新たな流通網の構築			
新たな価値創造による 収益性の向上	先取りの精神をもってさま ざまなヒト・モノ・コトを つなぎ、パートナーとの協 働で世の中に新たな価値を 生み出す。	成長戦略を推進し 2027年3月期経常利益+215億円 (2022年3月期対比)	 JCRファーマ (株) から導入した希少疾病用医薬品について研究開発の推進 デジタル商材の品揃え拡充(ペスタロッチ テクノロジー (株) (株) グレースイメージングへの出資) 	● JCRファーマ(株)から導入した希少疾病用医薬品について研究開発の推進 ●予防・未病領域における新規商材の導入、販売 (同領域で事業を行う(株)プリメディカの全株式取得) ●食品加工原材料卸売等関連事業における経営統合 ●新規・既存デジタル商材の販売拡大((株)エムネスへの出資)		
未来を担う人材の育成	「ありたい姿」の実現に向けて主体的に行動し、メディパルが描く未来志向型人材を育成する。	未来志向型人材の育成体系構築	 ◆未来志向型人材要件を組み入れたグループ共通の行動評価設計と 運用開始 ◆グループ教育研修体系の概要案策定 ◆タレントマネジメントの仕組み概要案策定、 タレントマネジメントシステム導入および展開方法検討 ◆次世代経営人材・キーポジション人材育成プログラム策定 	 未来志向型人材の要件定義に基づく新コンピテンシー評価制度の 導入・運用 未来志向型人材の育成体系構築・運用(グループ共通および各社単位) グループタレントマネジメントの仕組み構築・運用 次世代経営人材・キーポジション人材育成プログラム運用開始 		
ダイバーシティ& インクルージョンの推進 ^{5 ****} ****	多様な価値観を持った人 材が互いに認め合い、だれ もが明るく、楽しく、前向 きに取り組める創造性豊か な企業文化を醸成する。	2030年度 管理職に占める 女性割合20%以上2030年度 男性従業員の 育児休業取得率100%	 ●管理職に占める女性割合 8.5% ●女性活躍をテーマとしたパネルディスカッションの実施 ●女性社員キャリア意識調査の実施 ●ダイバーシティ&インクルージョン研修の実施 ●男性従業員の育児休業取得率 48.1% 	●管理職に占める女性割合 9.0% ●男性従業員の育児休業取得の推進 ●ダイバーシティ&インクルージョン研修の実施 ●健康経営の推進		
脱炭素への取組み 7 ************************************	ステークホルダーとともに 温室効果ガス排出量削減 と環境負荷低減に取り組む ことで、地球環境へ配慮し た事業を進める。	温室効果ガス排出量削減目標 (Scope1+Scope2) • 2030年度 50%削減 (2020年度比) • 2050年度カーボンニュートラル	 温室効果ガス排出量 2020年度比10.9%削減 電気自動車54台導入、7施設で環境配慮型電力に切り替え Scope3の開示、CDP気候変動質問書への回答実施 従業員向け意識向上施策の実施 	● 温室効果ガス排出量 2020年度比16%削減 ● TCFD提言に基づく情報開示内容の充実 ● Scope3の算定対象会社の拡大 ● 流通最適化モデルの構築		
健全で透明性の高い 企業経営 メ	コンプライアンス・薬事管 理・情報セキュリティの徹 底とガバナンスの充実をは かり、高い倫理観に根差し た企業経営を行う。	コンプライアンスに関する研修の拡充グループ会社に対応した ガバナンス体制の構築	●当社および連結子会社全18社の コンプライアンス担当責任者会議の開催●グループリスクマネジメント体制構築の検討●情報セキュリティ研修や各種コンプライアンス研修の実施	●当社主導によるグループ会社のコンプライアンス体制強化 (不正行為発生の3要素「①機会②動機③正当化」への取組み) ●グループリスクマネジメント体制構築、PDCAサイクルの実践 ●各種コンプライアンス研修の実施		

サステナビリティ担当取締役メッセージ

継続した取組みを大切にし 「元気と、かがやき」を 未来へつなぐ

株式会社メディパルホールディングス 常務取締役 管理本部長 兼 CSR委員会委員長 左近 祐史



メディパルグループにおけるサステナビリティ経営

「医療と健康、美」の流通で人々の健やかな暮らしを支える当 社グループは、経営理念に掲げている「流通価値」を高めていく ことが私たちのミッションであり、事業活動そのものが持続可 能な社会の実現に貢献すると考えています。社会インフラを担 う企業グループとして、どんな時も途切れることのない流通を 提供していくと同時に、さまざまなヒト・モノ・コトをつなぎ、 新たな価値を創出することが重要であると捉えています。その ためにサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)を特定し、 グループ一丸となってサステナビリティ活動に取り組んでいま す。2027メディパル中期ビジョンでは、サステナビリティの視 点を織り込み、成長戦略を通じた社会課題の解決につなげて います。今後のさらなる推進に向けては、さまざまなステーク ホルダーとの対話が肝要であり、積極的にその機会を増やし 企業価値の向上を目指していきます。

「メディパル カンタービレ※」の取組み

性別・国籍・経歴などにとらわれない多様な価値観を持った 人材が意見を出し合い、互いを認め合うことは、自身の成長と会 社の発展につながると考え、「ダイバーシティ&インクルージョン の推進 |をマテリアリティの一つとして掲げています。本取組み を従業員にわかりやすく浸透させるために「メディパル カンター ビレルと名付けて社内展開し、具体的には女性管理職によるパネ ルディスカッションの実施や男性育休取得者の声を発信するな どさまざまな活動を行っています。その結果、一人ひとりが自分 事として考える風土が少しずつ広がり、特に2023年度の男性従 業員の育児休業取得率は48.1% (対前年比約20%増)となり、 着実に意識改革が進んでいます。一方で、管理職に占める女性 割合は目標の20%以上に対して8.5%であり、この目標を実現 するために、働きやすい職場で多様な人材が活躍できる環境整 備に積極的に取り組んでいきます。

脱炭素社会実現へ向けて取組みの輪を 広げていく

当社グループは、2050年度カーボンニュートラル実現に向け、 2030年度までに2020年度比で温室効果ガス排出量50%削減 を目標に掲げ、太陽光パネルの設置や電気自動車の導入など環 境負荷低減の取組みを行っています。また、環境に対するハード 面の投資だけでなく、環境リテラシー向上を目的とした社内イベン トも実施しました。その結果、温室効果ガスを基準年度から約 11%削減しました。一方で、脱炭素社会を実現するには、サプライ チェーン全体を見据えて推進することが不可欠であり、課題と捉 えています。今後はScope3の算定精度向上と目標設定に向け て、関係者と連携して脱炭素の取組みの輪を広げていきます。

グループガバナンスの深化

健全で透明性の高い企業経営を実行するためには、適切なガ バナンス体制を構築することが必要不可欠です。近年は、事業 ポートフォリオを拡大し、多様性に富んだ会社が仲間入りしてい るため、体制構築の際には、グループ会社の規模や事業内容は もちろんのこと、沿革や風土、経営者の「人となり」なども重要な 要素になると考えています。ガバナンス体制の解は一つではな いため、お互いを尊重したうえで、各社の実情を考慮しつつ、グ ループ全体としてのガバナンスの実効性を高めるため、引き続き ガバナンス体制強化に向けた検討を進めていきます。

変化を恐れず挑戦し続ける

当社グループは、人々の健康と社会の発展に貢献するために、 創業当時から変革を恐れず事業ポートフォリオの拡大に挑戦し 続けてきました。サステナビリティ活動も昨年から実行フェーズ へと移行し、グループ全社へ取組みが広がってきています。サス テナビリティ経営を推進するためには継続が大切です。今後も さまざまなパートナーと協働しながら新しいことにも積極的に 挑戦し、「元気と、かがやき」を未来へつないでいきます。